

# HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会長 諸星常平 幹事 瀬戸 誠 会報委員長 西村隆之



奉仕を通じて

## 平和を

2012年～2013年度国際ロータリー会長  
田中 作次

第1315回例会 2012年12月6日(木)(晴)

司会 飯田隆明副幹事

点鐘 諸星常平会長

合唱 「君が代」「奉仕の理想」(梅原正美君)

ビジター紹介 久保谷 勤君(秦野) 王君寧君(米山奨学生)

祝結婚記念日 兒玉君(12/12)

祝誕生記念日 <会員> 梅原君(11/18)

祝創業記念日 石尾君(12/10)

### 会長の時間

○ ガバナー事務所より

12月に入り、今年もあと一か月になりました。気を引き締めて行きたいと思います。来週は年次総会で次年度の理事・役員承認を頂きたいと思います。

### 理事会報告

○ 次年度役員について

会長 桐山晃忠君 副会長 古谷スミ子さん

会長エレクト 河野治男君 副幹事 諸星道治君

職業奉仕委員長 山本裕宣君

社会奉仕委員長 木村眞澄さん

国際奉仕委員長 岩本英貴君

新世代奉仕委員長 小清水正義君 →承認

○ 消防車贈呈式 クリスマス会 ラオス大使館について  
日程、会費等、理事会で承認する。詳細は前親睦委員長より発表する。 →承認

○ 秦野3クラブ合同新年会について

招待…秦野市長、ガバナー夫妻、ガバナー補佐夫妻、会議所会頭

アトラクション…フラダンス →承認

○ 1/24(木)卓話について  
前君から石尾君に変更する。 →承認

○ 秦野商工会議所 賀詞交歓会について

日程 1/9(水) 11:00開始

場所 秦野商工会議所 4F

諸星常平会長が出席する。ご祝儀¥10,000は交際費より支出する。 →承認

○ 次年度ガバナー補佐委員について  
補佐委員はグループ幹事・大屋君、グループ会計・神崎君にお願いした。了承を得た。 →承認

○ 来年の研修会について  
4/18(木)→11(木)に変更(会議所の都合による)

→承認

○ 次年度IMの日程について

2014年2月22日(土)とする。

→承認

○ 今年度IMについて

発表者 古谷スミ子さん 補助者 梅原正美君

### 幹事報告

[週報受理] 秦野 秦野中 茅ヶ崎

[受付文書]

○ 秦野市くらし安全課より、年末の交通事故防止運動への参加について(お願い)

会員数	42名
出席数	36名
出席率	85.71%
前々回の修正	88.09%

メイクアップ	[事前] 大屋君(秦野)
	[事後] 三留君(秦野)

本日のプログラム	12月13日
	○ 年次総会

次週のプログラム	12月20日
	○ 家族親睦クリスマス会及び消防車贈呈式 於 ラオス大使館 点鐘 17:30

実施期間 12/11(火)~20(木)まで  
スローガン “無事故で年末 笑顔で新年”

17:00 ラオス大使館  
17:30 点鐘  
消防車贈呈式  
クリスマス会

【例会変更】 平塚西 平塚南

【本日の配布物】 「創立25周年記念誌」

《祝誕生祝いコメント》

- 梅原正美君 「あっという間に歳をとりました。皆様より若干若いかもしれませんが…? これからもがんばります」

### スマイル報告

- 久保谷 勤君(秦野) 「今年もあとわずかになりました。本日、メーキャップよろしくお願ひ致します」
- 諸星常平君 「12月になりました。健康に注意し、皆さんと共に頑張りたいと思います」
- 瀬戸 誠君 「不況です。深刻です。会員増強で苦勞しています。皆様、ご協力のほど、宜しくお願ひします」
- 桐山晃忠君 「いよいよ師走ですね! 風邪をひかないように気をつけましょう」
- 梅原正美君 「誕生日のお祝ひありがとうございます。年齢のせい、一年が短く感じる今日この頃です」
- 兒玉秀夫君 「お楽しみ会、記念日にスマイル!!」
- 淵脇美代子さん 「先週の日曜日、初雪が降りました。寒い寒い! 暖炉の前で丸くなっていました。薪を送って下さった鹿児島のお兄さん、工場の皆様、ありがとうございます」
- 飯田隆明君 「スマイルします」
- 神崎達朗君 小清水正義君 「スマイルします!」
- 西村隆之君 「スマイルします」
- 米山君夫君 「忘年会、今週4回、あと、年内7回あります。体に気をつけて頑張ります」
- 指名委員会 「前回の指名委員会の残りをスマイルします」
- 北村俊和君 三留文雄君 「スマイル、ペースアップお願ひします」
- 安部信三君 「所用の為、早退します」

合計 29,350 円

### 委員会報告

- 25周年記念実行委員会 三留文雄委員長  
記念誌が出来上がりました。次週、例会終了後、最終の実行委員会を開催いたします。
- IMについて 古谷スミ子さん  
2月のIM発表(活動)に対しての発表要綱用紙を配布致しました。気が付いた点を記入の上、提出して下さい。
- 親睦活動委員会 前 肇委員長  
「家族親睦クリスマス会及び消防車贈呈式」について  
日程 12/20(木)  
10:00 会議所出発  
10:15 秦野駅南口  
(東京駅、六本木散策)

※参加申込書を近日中に閉め切ります。御家族で御参加下さい。

### 卓話

「鉄の話」

神崎達朗君



今年も一カ月を切ってしまいました。時間のたつのが速くて目が回ります。また、総選挙が始まり、ますますあわただしく感じます。

私が卓話をするのは確か三度目だと思います。一度目は  $P=mc^2$  とか、特殊相対性原理とかアインシュタインとか、ニュートンとか、自然科学の進歩がそのまま現代の反映につながっているというような事をお話しした記憶があります。

二度目は確か、ハッブル望遠鏡の話とか、天文学者であるハッブル自らの業績である、宇宙は膨張しているヒソラ理論の話とか、銀河、中性子星、ブラックホールとかの中学生が聞いても馬鹿馬鹿しい話をしたか、原稿を書いて終わってしまったか…。卓話に予定されていた時間はしばしば変更されたり、時間を短縮されたり、中止されたりするのが常ですので、定かではありません。

今回は少しでもまじめにやろうと思っていましたが、いざとなると何を話していいのか、色々自分では話したい事があったはずでしたが、結局何を話したらいいかわからず途方に暮れていました。

何日か前のある人から、「神崎さん、なんで自分で会社を始めたのですか、きっかけはなんだったのですか」と聞かれました。とっさに何と答えたらいいのか解りませんでした。いつもそんな事を考えているわけではないので、急に当時の事を振り返ってもずいぶん昔のことでもうすでにぼんやりしています。

せっかく聞かれたので、少し思い出して見ようと思い、会社のパンフレットなどを引っ張り出して眺めたりしてみ

ました。

私が自分で仕事を始めたのは昭和46年、31歳の時でした。秦野市上今川町7-4番地という所の21坪の小さな借り工場で、12トンのプレス機が3台あるだけで、他には何もありませんでした。そこでキャブレターの小物部品や自動車ランプの付属部品を加工して6年間頑張りました。

ご多分にもれず上今川町にも住宅の波が押し寄せて参りました。空き地だった所にどんどん住宅が建ち、そんな時、秦野市戸川にそうした住宅地の中にある小さな工場をまとめて、工場団地を作るから入らないかという話が舞い込んで来ました。昭和52年の事です。

工場敷地が現在の3倍になるという話で現実はかなり手狭になっておりましたのと、自分の工場が持てるという事で、二つ返事で移る事にしました。

昭和52年11月に大秦野団地工業協同組合に入居しました。

ここに当時のパンフレットがありますが、このパンフレットは移転から10年後に作ったものです。11社で始めた組合もすでに9社に減っています。

現在は当初の会社数から1社潰れましたが、一社入ってきましたので9社は変わりません。お得意さんに恵まれ、従業員に恵まれ、家族の協力もあって今日までつぶさずにやってきました。これですと、ある人の質問の答えにはなっていないませんが、座右の銘があるわけでもないし確固たる信念があるわけでもないし、ただまじめにやっているだけです。

私はプレス加工業者です。プレス機械で金属板を加工する事です。金属板を金型で打ち抜き、穴あけ、曲げ、絞るなどして加工。製品にする仕事です。現在は主に自動車の部品を作っています。全て鉄板です。加工する機会も金型も作る製品も全て鉄です。したがってお話をするとすれば、鉄しかないので、鉄の話をしてします。

鉄の元素記号はFeです。原子番号26、原子量55.85、比重7.86。遊離している事は隕石を除いて稀ですが、化合物として岩石、鉱物中に存在しています。磁、赤、褐、変、黄、鉄鉱などとして産する。

地球上でもっとも量の多い元素です。地球全体の30~40%を占めています。なぜこれほど多いか、これは宇宙の星の成り立ちに由来しているのです。

宇宙の最初はビッグ・バンと言われています。言葉通り大きな爆発です。最初の10分間で陽子と中性子が統合し10万年かけて水素とヘリウムが結合して中性気体を作ります。その中性気体に密度の濃淡ができ、濃い塊はそれ自体の重力で集まり、その中心に原子が集中して行きます。原子の運動エネルギーが熱に代わり、温度が一億度以上になると核融合反応が始まります。恒星の誕生です。水素が燃えてヘリウムに変わり、ヘリウムが炭素に、炭素が窒素に、窒素が酸素などの原子核になります。この中で最も安

定した原子核を持つものが鉄の原子核です。

質量が太陽の8倍以上の恒星は自ら重力で凝固し、その反発で超新星爆発を起こします。そのチリが集まり、恒星の作り、大きな爆発をする。こうした事が繰り返され、安定した原子核を持つ鉄が宇宙空間に放出され、宇宙を漂う鉄は新しい星の材料になります。地球の鉄の存在量は30~40%を占め、水の惑星と言われている地球ですが、実は鉄の惑星でもあるのです。

地球上いたるところにある鉄ですが、多くは比重が重く、地球の内部に多く沈んでいます。マグマ・マントルと言われる中に多く含んでいます。

今、多量に使われている鉄は植物が作ったのです。その昔約35億年前、海中にはラン藻類が繁栄していました。この植物は葉緑素を持ち、光合成をおこない、酸素を出します。その酸素が海中の鉄イオンを酸化鉄として堆積させて鉄鉱床を作りだしました。この働きが数十億年続いたと言われています。

人類が初めて鉄を知ったのは隕石から、と言われています。隕石とは宇宙から落ちてきた他の天体の破片の事です。隕石には石質隕石、石鉄隕石、隕鉄の3種類があります。

隕石の90%以上は鉄と鉱物が半々程度の石質隕石ですが、鉄が含まれていますから人類が隕石から鉄を発見したのは納得できる話です。紀元前4000~3000年前のエジプトの墳墓や、ピラミッドから発見された鉄製品は分析の結果、隕鉄を加工されたものとされています。

鉄の利用の発端は隕鉄や、山火事だと言われています。紀元前1500年ころ、地中海のクレタ島人が山火事に寄って鉄鉱石から鉄が出来ているのを見て、鉄を作り始めたと言われています。そのクレタ島に近いヒッタイト人に伝わり、紀元前1500年ころ、製鉄がおこなわれたとされています。

ヒッタイト人は鉄の隕石を求め東へ東へと移動しました。これがタタール民族で、別名、鉄民族とも言われました。その製鉄方法の「たたら吹き」は古代日本にも製鉄方法として伝わり、日本語化しました。ではなぜ、「ヒッタイト人」が「タタール」という名前に変わっていったのでしょうか？

タタールは「地獄=タルタルス」から来ており、火を使って鉄を作る、その日の烈しさが地獄のように見えたということで名付けられたと言われています。中国では荒々しい人を「夷い」と呼び、タタール人の作った金属を金へんに「夷」と書きました。今使っている鉄という漢字は、金へんに失うと書いていますが、少し前までは「鐵」でした。

